



ひとつは卒業式が行われた、陸上競技場、Ducky Drake Stadiumです。在学中には、バスケット以外のスポーツ選手とも交流が広がり、オリンピック選手はじめ刺激を受ける多数の学生と過ごしたことで、今でも「あの連中の5分の1の努力ができたならなんとかなる」と思わせてもらっています。その、私のUCLA生活を振り返る原点がこの二カ所にあります。今回のReunionではこの二カ所まつわる、

私が大きな影響を受けた二人のことを紹介したいと思います。一人目は、今年の6月5日に99歳で亡くなった、「全米スポーツ20世紀のベストコーチ」に選ばれたJohn Wooden ヘッドコーチのこと。そして彼の「成功の定義」を支えているPyramid of Success について。もう一人は、1981年のチームの写真の中列右端に写っているDucky Drake トレーナーです。トレーナーになるまでは全米五輪チーム、そしてUCLA

の陸上競技のヘッドコーチとしてメダリストを何十人も輩出した名コーチで、卒業式が行われたDrake Stadium は彼の功績をたたえてネーミングされたものです。John Wooden の 成功の定義は私がこだわってきた“Maximize Your Value”の原点でもあり、Ducky Drake からもらったいくつもの言葉の中でも「否定できない運命を大切に生きれば幸せになれるよ」は今でもずっと残っています。それぞれの意味の解釈や深さは10、20年後と進化してきていますが、若い頃にそんな言葉に出会えたことを幸運に思います。以前、講演会で「横山さんはUCLAに行ったことで人生で何が変わりましたか？」と聞かれました。「UCLAに行ったという人生しか生きていないので行かなかったらどうなっていたかは知りません。しかし、今、そしてこれからの私の人生全てにUCLAでの生活が影響してきます」と答えたのを思い出します。今の自分に導いてくれた場所と時間を。そんな「否定できない運命」と思い出を共有する皆さんと日本同窓会を通じて繋がっていただけることを嬉しく思います。11月12日、多くの皆さんに会えることを楽しみにしています。

アンダーソン卒業生の近況 吉田達生



1991年にAGSMのフルタイムMBAプログラム(ファイナンス・会計専攻)を修了した吉田達生と申します。現在は、スイスに本拠を持ちながらグローバルに金融サービスを提供するUBSの東京オフィスで、自動車業界を担当する証券アナリストをしています。足かけ17年に渡って勤務した日産自動車を退職して、1999年に外資系証券会社で自動車業界を担当する証券アナリストへと転じました。所属証券会社は数社に渡りましたが、一貫して自動車業界の調査・分析を続けて10年を経た今年には、お蔭様で日本経済新聞のヴェリタス誌と米国のInstitutional

Investor誌の各々のアナリストランキング評価で、いずれも第1位に選ばれるという栄誉に恵まれました。私は1983年に東京大学経済学部を卒業後、日産自動車に入社して商品企画や北米市場でのマーケティングを担当していました。実務を一通りこなした7年目に派遣留学のチャンスに恵まれ、デトロイトと並んで米国自動車文化を最も色濃く映す街ロサンゼルスに留学先を求めました。AGSMにおいては、実務経験を既に積んでいるマーケティングではなく、仕事では無縁だったファイナンスと会計の世界に敢えてどっぷりと浸

